

平成25年度第1回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成25年4月22日（月）13時00分～14時30分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	岡本 哲夫
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
前熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、花村企画調整室長、福永総務課長、野尻学術情報メディアセンター事務長、前田地域連携・研究推進センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長、総務課石村班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成26年度入学者選抜の実施方針について

事務局教務入試課から資料1に基づき、「平成26年度の学部の入学者選抜について、特別選抜は、昨年度と同様に「推薦入試」、「社会人入試」、「帰国子女入試」、「私費外国人留学生入試」を実施し、募集人員も同数とする。また、自己推薦型入試及び前期・後期日程の一般入試も昨年度と同様の予定。大学院についても、選抜方法、入学定員、募集人員は昨年度と同様で実施予定である。平成25年度入試広報については、7月21日、28日に開催予定のオープンキャンパス等を中心に行う予定である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成27年度入学者選抜の実施教科・科目等について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成27年度一般入試の実施教科・科目等

について、学習指導要領の改訂に伴い変更が生じたことから、平成24年度第1回教育研究会議において決定し、平成24年5月にホームページで公表を行っている。入学試験委員会において、総合管理学部からの変更の提案、本学の入学者選抜状況、他大学の状況等を勘案のうえ更なる検討を行った。その結果、環境共生学部の一般入試前期日程の理科について、科目名等及び出題範囲の変更、総合管理学部の一般入試前期日程に小論文を課すA方式について、大学入試センター試験の数学の選択方法及び配点の見直しを行った。また、総合管理学部の自己推薦型入試について、第一次選考で学力検査を行い、第二次選考で、書類選考を含む面接を行うこととし、「くまもと夢実現」を含む推薦入試については、個別学力検査（総合問題）並びに面接の結果を総合して行うこととした。」との説明があった。続いて、松尾総合管理学部長から資料2の別紙に基づき、「平成20年度第1回教育研究会議で、総合管理学部の平成21年度入学者選抜以降、一般入試前期日程B方式について、志願者数が定員の3倍未満の場合、翌々年度の入学者選抜から個別学力検査を導入すると決定しており、平成23年度にその事実が発生したため、検討を続けていたもの。平成27年度の一般入試より個別学力検査等を導入し、併せて入試制度全般の見直しについて検討を行ったもの。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 授業料未納に伴う学生の除籍について

事務局総務課から、資料3に基づき「平成24年度の授業料が未納である学生3名について、督促・催告し、除籍予告を行ったが、現在まで納付されていない。うち2名については、本人と連絡が取れない状況。残り1名については、既に就職しており、除籍でかまわないと話している。3月開催の教授会において、納付がなければ除籍はやむを得ないと了承を得ているという現状であり、除籍についてご審議いただきたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成25年度一般入試における追加合格者決定について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、「前期日程で居住環境学科において欠員が1名、後期日程で環境資源学科において欠員が3名、居住環境学科において欠員が1名、食健康科学科において欠員が1名生じたため、3月28日に追加合格者決定の手続きを行い、入学定員を確保した。」との報告があった。

② 平成25年度入学者の状況について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「入学者の状況は、男性の割合は35.5%と昨年度より4%増、県内出身者は74.9%で昨年度より2%程度減少している。学部の定員充足率は、全体で107.9%。出身校別では、県内は県立第一高等学校が前年から6名増で39名と最多。県外の最多は鹿児島県の鹿児島中央高等学校で6名が入学してい

る。大学院の入学状況については、全体の定員充足率は78.7%。」との報告があった。

③ 平成24年度4年生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「このアンケートは、平成20年度から実施し今回が5回目。実施時期は平成24年12月から25年2月。質問内容は①学生の属性、②教育に対する満足度及び重要度、③学生サポートや学生サービスに対する満足度、④施設・設備に対する満足度、⑤大学生活の満足度等の5問。回収率は全学で91.2%。結果としては、本学の教育の中で満足度が高い項目は、「目標とする先生や目標を持った仲間に出会い、切磋琢磨すること」、「幅広い視野や考え方を身につけること」。本学の教育における重要度が高い項目は、「コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけること」、「目標とする先生や目標を持った仲間に出会い、切磋琢磨すること」。満足度と重要度の差が最も小さい項目は、「専門分野の研究に触れること」。逆に、満足度と重要度の差が最も大きい項目は、「外国語能力を身につけること」であった。また、大学生活の満足度については、「満足」及び「やや満足」とする回答の合計が95.7%となっており、「親戚や後輩等に本学を勧めるか」という問については、「勧めたい」、「本人の志望動機が本学に沿っていれば勧めたい」とする回答の合計が93.0%であった。」との報告があった。

④ 平成24年度（平成25年3月卒業者）の就職等決定状況について

事務局学生支援課から、資料7に基づき、「平成20年後半からの世界的な金融不安による景気悪化の影響を受け、就職の決定状況については近年厳しい状況が続いていたが、平成25年3月29日現在の未確定の数値と昨年度の5月1日現在の確定値とを比較すると、既に1.5ポイントほど上回っている状況にある。90%を超えるのは久しぶりであり、平成24年度の最終的な確定値については、これより微増するものと思われる。」との報告があった。

⑤ 非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料8に基づき、「専任教員として平成25年4月1日より採用が決定していた者について、本務校の都合により急遽非常勤講師として採用に変更する必要が生じ、採用の手続きを行った。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成25年度第2回 5月13日（月）午後1時～ 本部棟2階大会議室

5 閉会